

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

〔取り組みの事実〕

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

〔取り組んでいきたい項目〕

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

〔取り組んでいきたい内容〕

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

〔特に力を入れている点・アピールしたい点〕（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（No.1からNo.87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（No.88からNo.100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 明和の家
（ユニット名）	2階
所在地 （県・市町村名）	鹿児島市姪明和5丁目1-15
記入者名 （管理者）	吉元 ちが子
記入日	平成 20 年 8 月 26 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体で作上げた理念があります	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝 申し送り時にスタッフ全員で唱和し、自身のケアへの振り返りを意識づけております	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念を玄関や見えやすい位置に張り出したり、入居申し込みや見学の方にも説明を行っております	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	回覧板を通じて気軽に挨拶が交わせるように努めております。また、地域の方に駐車場を解放する等して、気軽にお付き合いをさせていただいております	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会へ加入し、地域の奉仕作業やあいご会の廃品回収に参加しております。また、自治会の総会にも参加し、地域の方の意見を聞いたり、グループホームへの質問にお答えする等、交流に努めております	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議で民生委員さんや、地域包括支援センター職員の方との情報交換を行い、入居申し込み対象者の把握に努めております、		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員研修や自己評価を通して、地域密着型として、グループホームに求められている事について意識付けを行っております		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎月発行している新聞や、研修の情報を提供しております。また、話し合われた内容は、申し送りにて報告し、情報共有に努めております		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	高齢者福祉課や介護保険課へ相談に行く等して得た情報を運営推進会議で共有いたしております		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修で学んだ情報を提供し、実際に利用開始された方がいらっしゃいます。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月のスタッフミーティング時や申し送りを利用し、高齢者虐待に関する理解・浸透・遵守に努めております。また、研修内容の回覧を行い、気づきに努めております		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学時にしっかりと説明・、納得されてから入居申し込みを受けるように努めております。	○	今回、家族へのアンケート調査を行ったところ、わかりにくかったとの回答が1件ありました。家族も高齢である事を考慮して、理解・納得に努めて行きたいと思います
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に、お茶を入れる等して挨拶を行い、近況報告やご意見を言いやすい雰囲気作りに努めています	○	今回、家族へのアンケート調査を行ったところ、「言いやすい人と言にくい人がある」との回答が1件ありました。早速、ミーティングを開催し、スタッフ全員が意識するように努めて行きたいと思います
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の近況報告やGH内の近況報告等を記載した毎月のお便りと、月ごとに金銭出納帳を締め切り、領収書と共にお返しするようにしております。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の位置を移動させて、さらに意見を言いやすい雰囲気作りに努めております。また、意見については、運営推進会議にて報告いたしております		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングで出された意見を、管理者会議で報告致しております。結果についても、スタッフに報告するように努めております		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	グループホームの基準以外にも、必要と判断される場合には柔軟に勤務調整を行い、サービス向上に努めております		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係作りを重視し、異動による混乱は避けるように努めております		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職時のオリエンテーションにくわえて、1ヶ月・3ヶ月・1年を目処に本人の意識の変化と向上心を確認致しております		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	鹿児島県・市のグループホーム連絡協議会に加入し、随時勉強会や研修会の情報を得ております。また、今年度からは、研修を業務命令とし、消極的姿勢を改善して行くように努めています。今年度は、他のグループホームへの研修も行い、スタッフの意識向上に努めております	○	なかなか自発的に参加する事が少なかった為、業務命令とし、職業人としての意識改革を図りたい
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者会議や会議終了後も和やかに意見交換会が行われ、言いたい事が言える窓口で有と思います		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、研修後に慰労会を設けたり、人事考課制度により、更なる勤労意欲を高めるなど、勤労意欲の向上に努めていると思っています		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所申し込み時、必ず本人・家族と面談し、また、入院・入所先を訪問し、意向を聴くように努めております。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	まず、空床を聞いてこられた際、満床で待機者が多くても、必ず家族の思いをお聞きするように努めております。そうする事で多くの家族は、満床でもゆっくりと聴いてもらえたと満足して下さいます		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	まず、面談時、他のサービスを利用する事で、自立した在宅生活を送る事は出来ないのかと、情報提供に努めております		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まずは見学に来ていただき、他のグループホームも数箇所見学し、本人・家族が納得されたら、入居申し込みをしていただくように努めております。また、現在の入居者環境に馴染めるかどうかにもよく見極めるように努めております		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	認知症高齢者マニュアルを遵守し、スタッフの困りごとにならないように本人の視線に合わせる事に努めております		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入所後も家族や主治医との関係が継続できるように、いつも本人・家族の決定にゆだねております。家族が面会后笑顔で帰られるように支援いたしております	○	今回、独自のアンケートにより、家族の思いとスタッフの思いにずれがある事がわかったので、本人の認知を受容できない家族との距離を少しでも縮めて行きたい
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	何故入所しなければならなくなったのか、家族のそれぞれの思いを理解し、個人情報漏らす事なく中立の姿勢に努めています		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人・地域との関係が途切れる事のないように、自由な面会・外出・外泊などに努めております		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	波長の合う方同士、同じ空間で快適に過ごせるように、見守りを行いながら、双方が自立し支えあっていると言う気持ちが持てるようにさげない支援に努めております		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今年で退居後3年になりますが、こちらから積極的にお声をかけて、今でもボランティアとして来訪して下さっています。年に一度ですが、ここにくると、ここで暮らしていた母を強く思い出しますと言ってくださる事が何よりと受け止めています		
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いを言葉にされることが少ない方が多いですが、時間をかけながら、本人の意向を把握するよう努めております		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前のアセスメント・課題分析を行なう為、在宅訪問や施設・病院にて面談し、主治医との連携・担当者会議を開催するなどより多くの情報収集に努めております		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の能力に応じた生活が送れるように、できる動作能力の把握に努め、少しでも引き出せるように努めております。それが継続できる事に執着せずに、日々、心身に変化のある事を理解し負担にならない範囲を心がけております		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	朝の申し送りを活用し、昼食後やミーティングのわずかな時間を利用し、情報共有に努めております。また、家族の面会時を利用し、プランの評価を行なうように努めております	○	今回のアンケートの回答で、一人でしたが、プランの説明がわかりにくいとの意見もあり、専門用語ではなく、わかりやすい言葉で高齢者介護である事を踏まえた説明に努めて行きます
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月のモニタリングを通じて、ケアの改善点は生じていないか等評価し、現状に即したサービス計画書作成を行なうように努めております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	漫然と記録する事なく、短期目標を評価する気持ちで記録し、お互いの気づきを共有できるように申し送りを大切に致しております		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	特色として歯科衛生士の配置を行っており、いつまでも、おいしく、楽しく食べたい物が食べられるように、早期に不具合を発見し、家族と相談しながら柔軟な支援を行なっております		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	県外の家族からの電話で、お墓参りを行なう事になり、地域の訪問介護センターや、タクシー会社と共同して、安心・安価・安全に行なう事ができました。家族も心配されている事を推測し、すぐにFAXにて近況報告と領収書等のコピーを送信いたしました。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	家族の退職に伴い在宅介護が可能になった為、入所前の居宅のケアマネジャーとの担当者会議を開催し、地域のサービスを利用できるように情報交換を致しました		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議にて地域における接近困難事例等の情報交換を行っております		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みの医師の医療が継続できるように、かかりつけ医を基本と致しております		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力病院の認知症専門医・脳神経外科医に相談し、認知症に関する診断や治療に関する助言を家族と一緒に診察を受けていただいてから、入所を決定させていただいています		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問診療時を利用し、身体状況の変化・内服等について看護師間での情報交換に努め、主治医の診療がスムーズに行えるように努めて、異変などを気軽に相談し、本人も安心して診察が受けられるように努めております		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	定期的に受診介助し主治医に随時報告し、専門医の診察を進められたら、病院との連携を図り、すぐに家族と相談し、受診出来るように診療情報提供書や、日常の身体情報表を準備したり、入院時は必ず付き添い、本人が安心して入院出来るように努めています。また、こまめに見舞いに行くなどして、SWとの連携に努めて退院後の生活がスムーズにおくれるように努めております		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	出来るだけ早い段階から、重度化したらどうするべきかを決めていただくように説明し、家族全員の意向確認をしていただいております。さらに重度化して来た場合、本当に現状のままで良いのかを、家族・医師・スタッフと検討会を行い、全員の意味が同一方向に向いている事の確認を行っています		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	看取りに対するマニュアルを作成し、医師との24時間オンコール体制の確保・家族間の連絡網等含めて綿密に検討会を重ねて看取りを行ないました。入所時には、グループホームでできる事・できない事を説明し、緊急時の対応についてもしっかりと説明・納得をしていただいてからの入所していただくように努めています		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今まで他のグループホームへの移動はありませんが、在宅介護可能になり退居された方はあります。その際は、居宅支援事業所との連携を行い、必要な情報提供を行ない、スムーズに在宅サービスが受けられるように必要な支援を行なっています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	○	スタッフのストレスも考慮しつつ、行動障害は誰にとつての行動障害なのか、研修への参加を促していきたいと思います
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	○	家族が本人の希望だからと髭剃り用のかみそりを渡されており、怪我をされた事や、はさみを渡されて衣類を切っておられた事もあり、家族も高齢である事に配慮していきたいと思います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	○	一緒にスーパー等に出かけて食べたい物を食べたり、選んだりできる回数を増やして行きたいと思います。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している		お酒やタバコの希望はありませんが、飲み物については、入浴後の水分補給時、お茶や麦茶以外にもジュース等をお出ししています。アイスクリーム・スイカ等季節を感じていただいておりますが、やはり締めはお茶のようです

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄への執着心を最後まで残る事を考慮したケアを心がけ、トイレでの排泄を基本に、安易にオムツ使用に切り替えないように、布下着で過ごす事の重要性を認識するように努めております		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	決して納得しないと入浴される事はないので一人ひとりの時間で入浴していただいています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	認知症に限らず寝たい時に眠れる事や、安心して眠れる空間が守られる事により、気持ちが安定する事を理解しつつも、昼夜逆転につながらない程度の心地よい眠りに配慮いたしております		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入所前のアセスメントが今後のケアの重要な位置を占める事を家族に理解していただき、より多くの情報提供を頂くようお願いいたしております。また、本人の行動や言葉はその人の生活歴にある物であると認識し、気づいた事は家族にも確認し、ケアにつなげていくように努めています		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在 自己管理できる方がいらっしゃらなくなりました。お一人、本人・ご家族の希望で手元に現金をおいておられる方がいらっしゃり、本人・ご家族で管理されております。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ケアの関係で毎日と言うわけには行きませんが、回覧版返し、屋外でのお茶タイム 外食デー等定期的に計画いたしております。また、裏庭や玄関への散歩等、気軽に外に出られるよう努めております。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	今年度より、行事計画担当者だけではなく、毎月の行事担当者を配置し、外出の機会を多く致しております		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて電話をかけたり、電話の取り次ぎなども自由に行っています。また、本人が家族宛てに書いた手紙を、スタッフと一緒にポストに投函されることもあります。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	入所時に、特に面会への制限を家族が希望されない限り、どなたでも訪問していただき、馴染みの関係が途絶える事のないようにと考えております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常にわが身に、わが家族に置き換えた支援を基本に、認知症の行動には意味が有る事を理解し、いかなる場合で合っても身体拘束を行う事がないようにと言う意識で取り組んでいます		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	自分でドアを開けて屋外に出て散歩をしたり、椅子を運んで外気にあたりながら新聞を読む光景もよく見られます。現在はあまりにも熱いので、出てもすぐに引き返して来られます		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	歩行不安定な方が階段をお一人で降りようとされている場合、さりげなく声をかけ、スタッフも一緒に降りることで転倒防止に努めております。また、居室内の空調の確認を兼ねて、居室を訪ねさせて頂いております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	裁縫道具や爪切り等、目が良く見えないことから、お一人で使用されることはなく、スタッフに介助を求めて来られるので、一緒に使用したり、スタッフにて代行しております。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	年2回の消防訓練やミーティングにて安全対策マニュアルについて確認を致しております。また、日常的に緊急事態が発生した場合、自分は何をするべきかを意識して業務にあたるように指導いたしております	○	落雷が有ると非常灯が点滅するようになっているのですが、突然点滅し始めてびっくりしてしまい、理解しているはずの手順を行うのに手間どってしまう危険性もあり 比較的短いサイクルで訓練を行うようにしたいと思っております

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	看護師や管理者・防火管理者は随時研修を受けて、ミーティング時に報告したり、職員研修を開催致しております		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練では、入居者・家族も一緒に屋外へ避難し、消化器を使用しての訓練、消防士さんの講話も聞いてもらっています。運営推進会議でも避難訓練の報告を行っております		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	身体状況の変化を逐一報告するように努めています。また、起こりうるリスクについても普段から家族と共に話し合い、理解していただくように努めています		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	小さな気づきが疾病の早期発見につながる事を理解し、報告・連絡・相談を基本に統一したケアを行う事の重要性を申し送りの都度確認いたしております		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が内服一覧表を作成し、受診記録や内服の変更など、申し送りノートに記録し、症状の変化等に気づいたら報告する事を徹底するように努めております		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便が二日なければ看護師に報告し、排便チェック表をスタッフ全員の目のつく位置に張り出し、記録漏れがないように努めています。便秘が確認されたら、歩く距離を増やす、繊維食を増やす等の工夫に努めております	○	おやつや食材に食物繊維の多く含まれる食品を取り入れ、献立のマンネリ化を防ぎ、同時に活動量を増やすことにも努めて行くべきと考えております
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアにはかなり力を入れております、少しでも異変が在れば、歯科衛生士に報告し専門家の視点から必要な支援を行うように努めております。また、夜間は義歯を洗浄剤に浸し、朝本人が装着する前にスタッフにてきれいに水洗いしております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は毎回記録し、毎日二～三日前の献立を確認し、重なった献立にならないように工夫いたしております。また、個々の状態に応じて形態を変えたり、量を調整しながら、小鉢に分食したり、習慣に応じた温度にする等、自己摂取出来るように配慮致しております		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策マニュアルに添って随時看護師から指導を行うように致しております。インフルエンザ予防接種など家族の同意を得て、接種出来るように支援いたしております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	定期的に食品の賞味期限の確認を行っています。新鮮で旬の食材を毎日購入しており、冷蔵庫への詰め込みに注意いたしております		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には花を植えておりますが、花が綺麗に咲いていると入りやすいと隣の方から言われた事があります。玄関はその家の顔であるということわざに拘り、家族にいただいた石臼を飾り、家庭らしさに拘っております		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	蒸籠や火鉢 畳など入居者の方が自宅で使っておられた物をいただき、昔の生活空間を大切に考えております		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	あらゆる所に椅子やソファを置き、くつろぎたい場所に移動し、静かに過ごせる空間づくりに努めています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みの物で部屋は埋まっています。特に持ち込みの制限は致しておりません		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	早朝ホールを解放し、新鮮な空気を入れ換えております。また、外気との温度差に注意しつつ、個人個人の体感温度が違うので、こまめに調整を行うように努めています		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	比較的トイレ内も広い空間になっており、見学に来られた方がびっくりされます。車椅子でもトイレ内に入れる事で、車いすの方でも一人でトイレに行くことができます。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来る動作の見極めをしっかりと行う事で、少しでも失敗を減らす事が出来ると考えております。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダから季節が感じ取れるように配慮し、小さな家庭菜園には季節の野菜を植えて、収穫の楽しみが持てるように努めております。しかし わずかな野菜収穫でも揉め事になる事があります		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	☐	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	☐	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	☐	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	☐	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	☐	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		☐	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	☐	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	☐	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	☐	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

9名それぞれに個性があり、個別ケアの必要性を感じて実践している上で、個別ケアが逆にその方のプライドを傷つけてはいないか、慎重にケアに取り組んでおります。著しいADLの低下にスタッフが戸惑ってしまいそうですが、一番苦しいのはご本人であるということを常に忘れず、生活の中に笑顔を見出せるよう努めております。